



かけはし

- 基本方針 7つのあい**
- 知りあい
 - つながりあい
 - みとめあい
 - そだてあい
 - ささえあい
 - 見守りあい
 - 助けあい



発行 社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会

住所/〒406-0822 笛吹市八代町南 917 電話/055-265-5182 FAX/055-265-5183

発行責任者：社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 会長 早河正弘 広報「かけはし」には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。

令和3年度 事業計画

笛吹市社会福祉協議会は高齢者・障がい者の福祉サービス拠点スマイルいちのみやを令和2年5月に開所しました。運営方針は、「高齢者・障がい者の福祉サービスの提供と全ての住民の参加を得た地域福祉の拠点となる複合型の施設実現」です。今年度は新しい生活様式に対応しながら、住民の参加を得て、地域との交流を深め、地域共生型の多世代交流と多機能の福祉拠点として、地域に根差した福祉活動を推進していきます。

さて、地域共生社会とは、国が平成28年「ニッポン一億総活躍プラン」を策定し、厚労省はそれを受けて、「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現」を位置づけ、制度分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や多様な主体が「我が事」として参画し、人と人・人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながること、住民一人ひとりの暮らしや生きがいを地域住民と関係機関が共に創っていく社会のことです。

社協は、この動きを受けて、「地域福祉」の原点である共に支えあい、助けあう地域づくりに向けて「住民が主役」の第3次地域福祉活動計画（平成29年度～令和3年度）を策定しました。活動計画のテーマは「7つの地域あいみんのでいっしょにつくる共生のまち」で、基本的視点は「住民が主役」です。「地域福祉」とは、子どもから高齢者まで、障がいがある人もない人も、誰もが住み慣れた地域で

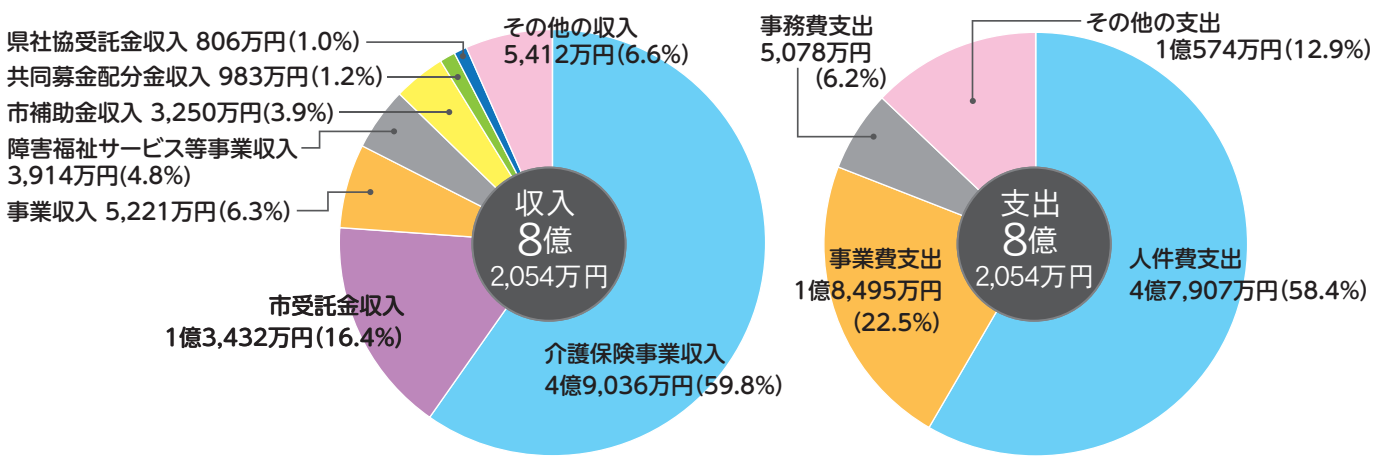
住み慣れた自宅できいきと自立した生活を送れることを目指し、地域における様々なサービスを組合せ、誰もが支えあいながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」を実現することです。今年度は活動計画の最終年です。新しい生活様式に対応しながら「住民が主役」の基本視点のもとその具現化に向けて、既存の事業に加えて、地域課題に基づく先駆的・開拓的なサービス・活動に取り組んでまいります。

今年度も、地域共生社会の実現を目指し4つの重点目標を定めました。その中心が、社協が有する資源を最大限生かすことです。地域の事業活動を推進する地域福祉部門・後見センターなどの権利擁護部門・障がい者の相談部門・障がい者の地域活動推進部門・高齢者の在宅生活を支える介護事業部門・それらを統括する法人運営部門の各部門間の連携を強化して、住民個別の支援と地域づくりを進めてまいります。

重点目標

- 1 地域共生社会の実現を目指します。
職員一人ひとりが社協の役割を理解し、連携・協働して住民に寄り添った支援をします。
- 2 新しい生活様式に合わせた地域福祉を推進します。
- 3 住民主体の活動を支援します。
社協の財務基盤を強化して地域福祉を推進します。
- 4

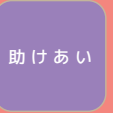
令和3年度 予算



※内部取引である「サービス区分間繰入金収入・支出」「事業区分間繰入金収入・支出」は除いて表記しています。

赤い羽根共同募金のご報告
12,738,044円 (前年度比 97.1%)

お寄せいただいた募金は自分たちのまち(笛吹市)の地域福祉のために使われます。ご協力、誠にありがとうございました。





コロナ禍での社協の取り組み ～未来の笑顔のために～



地域で支えるしくみをつくりたい!

個を支える支援と地域のネットワークづくり

コロナウイルスの影響を受け、今なお、様々な活動に制限を受けている状況が続いています。社協では、昨年末にひとり親世帯を対象とした「笑顔で新年迎えるじゃん事業」を実施しました。この事業は、社協へ寄せられた相談や、ふえふき子ども子育て関係者連絡会※の中から「コロナにより生活に影響を受けている家庭が増えている・・・」という声を数多く聞き、関係機関の協力をいただきながら実施しました。

※ふえふき子ども子育て関係者連絡会

社協が事務局となり、NPOやボランティア団体、企業などが集まり子ども子育てに関する情報共有や長期休暇の居場所等の活動を行っています。

地域のネットワーク

笑顔で新年迎えるじゃん事業 (12月末)

ひとり親家庭の生活状況の把握と、各ご家庭に季節を感じてもらうことを目的に、お餅やおそばなどの食材やお年玉、正月飾りなどをお渡ししました。



それぞれができることを実践していこう!

笛吹市の子どもたちの力になりたい!



助かります! これらも続けてほしい

個を支える支援

長引くコロナで生活が大変...



企業



笑顔で新年度迎えるじゃん事業 (3月末)

前回の事業アンケートにて、「食材はとても助かる。ぜひ継続して欲しい。」との声が多く聞かれ、年度末の物入りの時期に、再度食材等を無償でお渡ししました。

ボランティア

今後も継続的な活動とするために...

『あい子ども応援基金』を立ち上げました!!

笛吹市の子どもたちのための基金を設立しました。地域の皆さんからの応援で『子どもたちの健やかな成長と夢と希望を応援する』ための取り組みを行います。地域の皆さん応援をよろしくお願ひします! 社協各地域事務所にて寄付を受け付けております。お問合せ先は3ページをご覧ください。

基金の活用方法

- ・食料品や物品の購入費用など、ニーズに応じた活用
- ・事業に必要な事務費・人件費など



子どもたちの成長を応援したい!を形に。

この寄付金は、法人税法第37条第4項、所得税法第78条第2項に該当し、寄附金控除が受けられます。

複合福祉施設

スマイルいちのみや

社協が行う地域共生社会の実現。スマイルいちのみやの活動紹介

第2弾!!



スマイルいちのみやの良いところ!

それは、とにかく地域との共生!! 世代を超えた共生!! 障がいや疾病などを超えた共生です!! 年末には、コロナ対策をしながらデイサービスと就労B型、生活介護合同のクリスマス会を開催しました。就労B型の仕事として昼食のカレーとみそ汁を作りデイサービスの皆さんにも喜んでいただきました。また、みんなで「パプリカ」の歌で踊りをするなど、楽しい時間を過ごすことができました。コロナが落ち着いたら、是非、地域の皆様にも参加していただける行事を開催したいと思っています!

